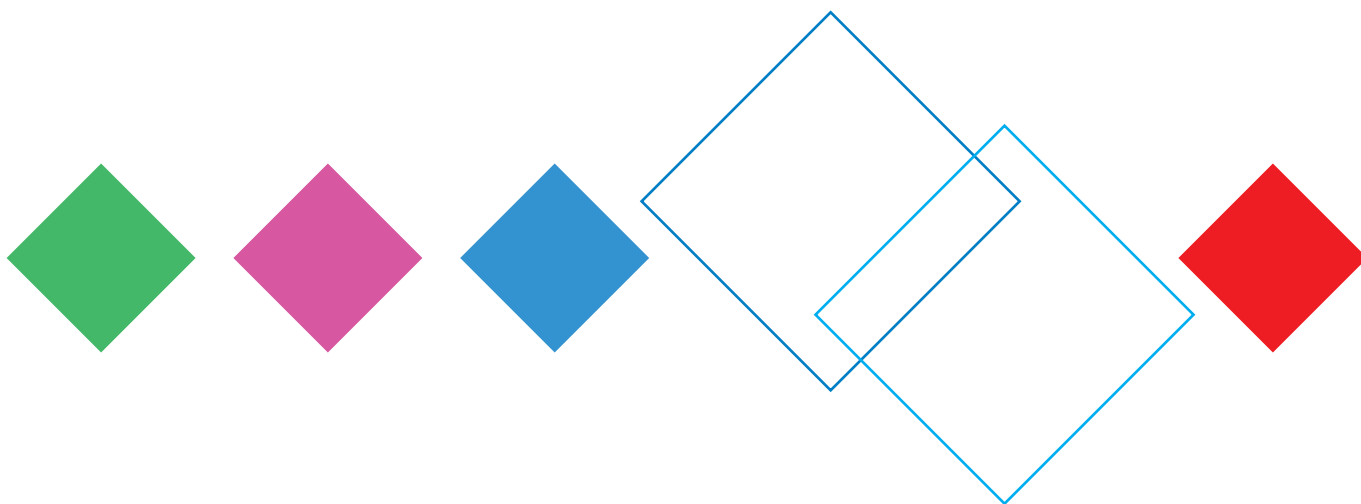
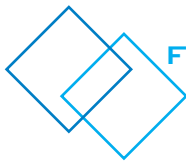


2012 Business Report

株主の皆様へ 第52期第2四半期報告書
2012.4.1-2012.9.30

内外テック株式会社





売上高

5,917百万円
(前第2四半期比32.1%減)

営業利益

△ **116**百万円
(前第2四半期は152百万円)

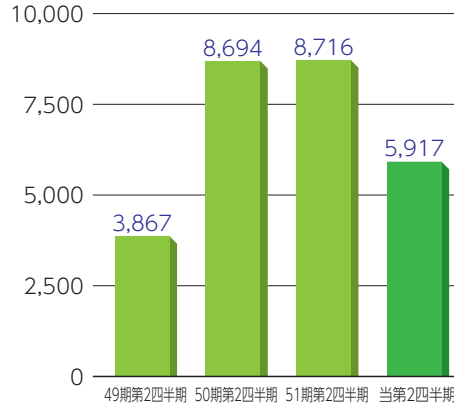
経常利益

△ **140**百万円
(前第2四半期は134百万円)

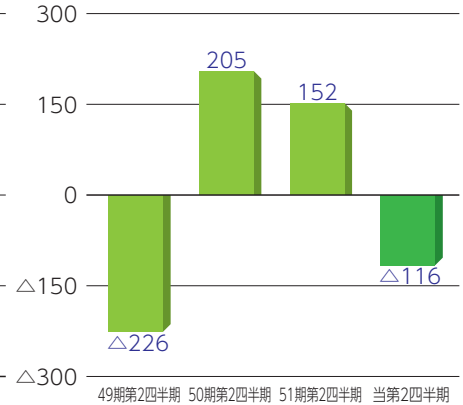
四半期純利益

△ **222**百万円
(前第2四半期は129百万円)

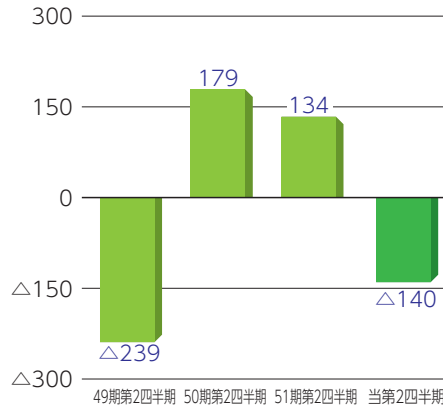
売上高(単位:百万円)



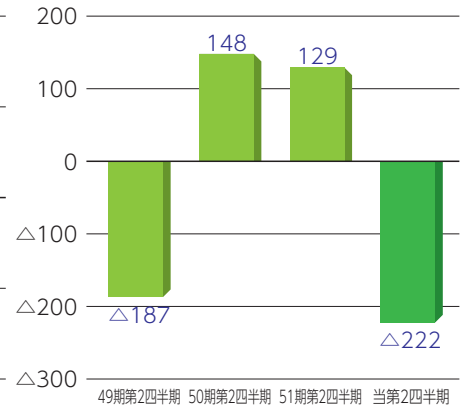
営業利益(単位:百万円)



経常利益(単位:百万円)



四半期純利益(単位:百万円)





確固たる経営基盤の構築に向けて

—海外事業の拡大、医療機器分野への取組強化—

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに内外テックグループの第52期第2四半期累計期間（中間期）（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）の事業の概況につきましてご報告申し上げます。

当第2四半期累計期間（当中間期）におけるわが国経済は、復興需要やエコカー補助金の政策効果等により改善傾向にあったものの、欧州経済の停滞及び米国や新興国での景気減速懸念などから先行きの不透明感を払拭できない状況で推移いたしました。

当社グループの主な取引先である半導体業界や半導体製造装置業界におきましては、スマートフォンやタブレット端末の需要拡大が続いたものの、欧米を中心とした世界的な経済の減速懸念などから、半導体メーカーの半導体製造装置に対する設備投資が控えられたため、半導体製造装置メーカーの受注は引き続き減少いたしました。

また、FPD（フラットパネルディスプレイ）製造装置業界におきましても、液晶メーカーが薄型テレビ需要の急激な減少と景気低迷の先行き警戒感から投資行動に慎重な動きを継続させたことにより、FPD製造装置メーカーの受注も低迷いたしました。

このような経営環境のなかで、当社グループは、製販一体の総合力の強化と、営業力の強化により受注獲得に努めるとともに、アジアを中心とした「ものづくり」に積極的に対応するため、昨年中国海外子会社の設立に続き、本年4月に韓国に「内外テック韓国株式会社」を設立し、販路の拡大を進めたほか、新たな事業分野への取組として「医療機器分野」への参入を目指してまいりました。また、収益構造改善を目指し、原価改善や販売費・一般管理費の削減に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、主要取引先であります半導体製造装置メーカーからの受注が大きく減少したことから59億17百万円（前年同期比32.1%減）となりました。損益面では、売上の不振により、営業損失1億16百万円（前年同期営業利益1億52百万円）、経常損失1億40百万円（前年同期経常利益1億34百万円）となりました。



また、繰延税金資産を78百万円取崩したことなどにより、四半期純損失2億22百万円（前年同期四半期純利益1億29百万円）となりました。

当社グループを取り巻く経営環境は、引き続き厳しい状況で推移することが見込まれております。当社グループは、お客様のニーズに応え、確固たる経営基盤を構築するため、グループ総合力の強化（製販一体の総合力強化）、売上高の拡大と収益力の強化（海外事業の拡大、医療機器分野への取組強化）、人材の育成（マネジメント力、提案力、海外事業推進力の強化）に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き尚一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年12月

代表取締役社長 権田 浩一



四半期連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

科 目	当第2四半期末 平成24年9月30日	前期末 平成24年3月31日
資産の部		
流動資産	6,811	8,508
現金及び預金	3,674	3,872
受取手形及び売掛金	2,710	3,886
商品及び製品	347	526
仕掛品	20	17
原材料及び貯蔵品	21	25
その他	41	184
貸倒引当金	△3	△5
固定資産	2,263	2,205
有形固定資産	1,371	1,351
無形固定資産	25	27
投資その他の資産	867	826
資産合計	9,075	10,714
負債の部		
流動負債	4,650	5,839
固定負債	3,239	3,422
負債合計	7,889	9,262
純資産の部		
株主資本	1,185	1,432
資本金	389	389
資本剰余金	322	322
利益剰余金	501	748
自己株式	△28	△28
その他の包括利益累計額	0	19
その他有価証券評価差額金	2	20
為替換算調整勘定	△1	△0
純資産合計	1,185	1,451
負債純資産合計	9,075	10,714

1

資産合計
9,075百万円
(前期末比 △1,638百万円)

前期末に比べ、現金及び預金が1億97百万円、受取手形及び売掛金が11億76百万円減少しました。

2

負債合計
7,889百万円
(前期末比 △1,372百万円)

前期末に比べ、社債及び長期借入金（1年内を含む）の純減少額2億81百万円、支払手形及び買掛金が9億80百万円減少しました。

3

純資産合計
1,185百万円
(前期末比 △265百万円)

前期末に比べ、利益剰余金が当四半期純損失等により2億46百万円減少しました。



四半期連結損益計算書 (要約)

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期 自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	前第2四半期 自平成23年4月1日 至平成23年9月30日	
売上高	5,917	8,716	4
売上原価	5,353	7,832	
売上総利益	564	883	
販売費及び一般管理費	681	731	
営業利益又は営業損失 (△)	△116	152	5
営業外収益	20	28	
受取利息及び受取配当金	4	4	
受取賃貸料	6	5	
その他	10	18	
営業外費用	44	46	
支払利息	41	38	
その他	3	7	
経常利益又は経常損失 (△)	△140	134	
特別損失	－	0	
減損損失	－	0	
その他	－	0	
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△140	133	
法人税等	81	4	
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△222	129	
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△222	129	

4
<p style="text-align: center;">売上高 5,917百万円 (前年同期比 △2,798百万円)</p> <p>販売事業は54億97百万円 (前年同期比32.9%減)、受託製造事業は4億19百万円 (前年同期比19.6%減)となりました。</p>

5
<p style="text-align: center;">営業利益 △116百万円 (前年同期比 △269百万円)</p> <p>販売事業は△93百万円 (前年同期は1億1百万円)、受託製造事業は△37百万円 (前年同期は32百万円) となりました。</p>

6
<p style="text-align: center;">営業活動によるキャッシュ・フロー 225百万円</p> <p>主な増加要因は売上債権の減少額11億76百万円など、主な減少要因は税金等調整前四半期純損失1億40百万円及び仕入債務の減少額9億80百万円の減少などです。</p>

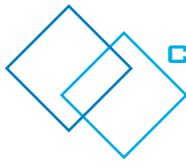
四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要約)

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期 自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	前第2四半期 自平成23年4月1日 至平成23年9月30日	
営業活動によるキャッシュ・フロー	225	106	6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△128	△31	7
財務活動によるキャッシュ・フロー	△318	1,008	8
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	△0	
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△222	1,083	
現金及び現金同等物の期首残高	3,444	1,869	
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,222	2,953	

7
<p style="text-align: center;">投資活動によるキャッシュ・フロー △128百万円</p> <p>主な減少要因は定期預金の預入による60百万円及び有形及び無形固定資産の取得による支出39百万円などです。</p>

8
<p style="text-align: center;">財務活動によるキャッシュ・フロー △318百万円</p> <p>主な減少要因は長期借入金の純減少額1億76百万円及び社債の純減少額1億11百万円などです。</p>



会社の概況 (平成24年9月30日現在)

■会社概要

設立年月日 昭和36年6月1日
 資本金 389,928千円
 主な事業内容 空気圧機器、同応用機器類、工作機械、電気機器、
 電子機器その他工具類の売買及び輸出入
 従業員 連結272名

■役員

取締役社長 (代表取締役) 榑田浩一 内外エレクトロニクス株式会社代表取締役会長
 常務取締役 高階秀俊 営業本部長、営業推進部長
 常務取締役 米澤秀記 管理本部長
 取締役 森田安男 営業本部長、資材調達部長
 取締役 茨田満 内外エレクトロニクス株式会社専務取締役
 常勤監査役 中田治 内外エレクトロニクス株式会社監査役
 監査役 浅野謙一 弁護士
 監査役 厚母義夫

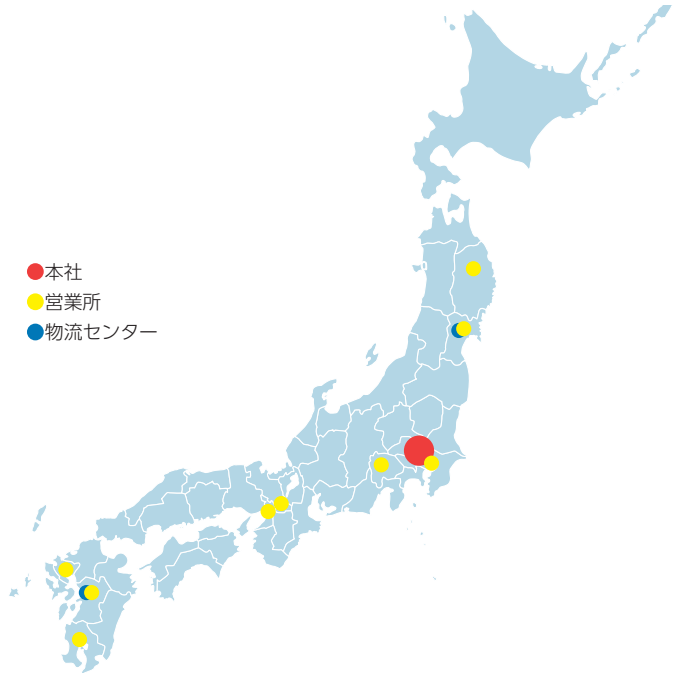
(注) 監査役浅野謙一、厚母義夫の各氏は、社外監査役であります。

■連結子会社

会社名	資本金	当社の出資比率	主要な事業内容
内外エレクトロニクス株式会社	90百万円	100%	半導体・FPD製造装置等の組立及び保守メンテナンス等。
納宜伽義機材(上海)商貿有限公司	60百万円	100%	機械電子設備及びその部品並びに計測計装機器の卸売、輸出入、代理事業。上記に関するコンサルティング、アフターサービスと関連付帯サービスの提供。
内外テック韓国株式会社	4億ウォン	100%	機械電子設備及びその部品並びに計測計装機器の卸売、輸出入、代理事業。上記に関するアフターサービスと関連付帯サービスの提供。

■営業所等

本社 京都営業所 宮城物流センター
 北上営業所 大阪営業所 九州物流センター
 仙台営業所 鳥栖営業所
 東京営業所 熊本営業所
 甲府営業所 鹿児島営業所



●本社
 ●営業所
 ●物流センター



■株主の状況

発行可能株式総数 17,000,000株
 発行済株式の総数 5,072,000株
 株主数 594名

(注) 前期末に比し8名減少いたしました。

■大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
権田浩一	793,000	16.30
内外テック社員持株会	320,200	6.58
権田益美	277,000	5.69
大塚久子	263,880	5.42
権田祐実	156,000	3.20
権田雄大	156,000	3.20
副島真由美	149,040	3.06
株式会社東京都民銀行	148,000	3.04
SMC株式会社	120,000	2.46
高津伝動精機株式会社	100,000	2.05

(注) 1. 当社は自己株式を207,616株所有しておりますが、上記大株主からは除いております。
 2. 持株比率は自己株式(207,616株)を控除して計算しております。また、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

■HPのご案内

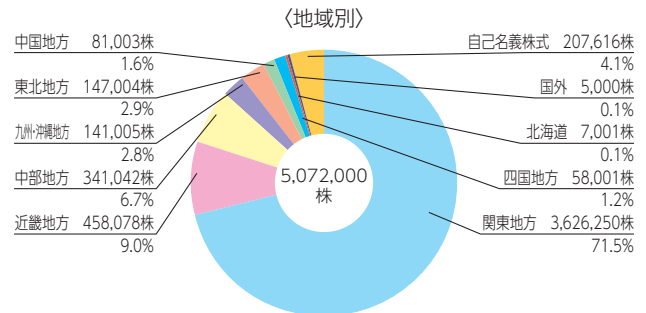
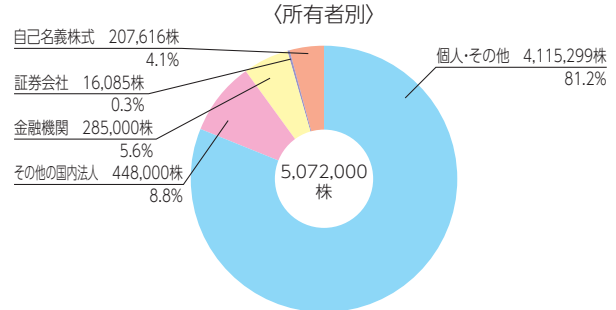


<http://www.naigaitec.co.jp>



詳しい決算情報は当社ホームページでも開示しております。

■株式の分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
配当金受領株主確定日	剰余金の配当 3月31日 なお中間配当を実施するときの株主確定日は 9月30日
定時株主総会	6月
単元株式数	1,000株
基準日	3月31日
公告方法	その他臨時に必要があるときは、あらかじめご告知いたします。 当社のホームページ (http://www.naigaitec.co.jp) に掲載 します。ただし、電子公告によることができない事故その他の やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)	お取引の証券会社になります。	みずほインバスターズ証券 本店及び全国各支店 プラネットブース (みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行 本店及び全国各支店
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 本店及び全国各支店 みずほ銀行 本店及び全国各支店 (みずほインバスターズ証券では取次のみとなります)	
ご注 意	支払明細発行については、右の 「特別口座の場合」の郵便物送 付先・電話お問合せ先・各種手 続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の 買取・買増以外の株式売買はで きません。証券会社等に口座を 開設し、株式の振替手続を行っ ていただく必要があります。 みずほインバスターズ証券で単 元未満株式の買増請求手続をさ れる場合は、事前にみずほ信託 銀行が指定する口座に送金して いただく必要があります。



内外テック株式会社

〒154-0024 東京都世田谷区三軒茶屋二丁目11番22号
サンタワーズセンタービル7階
管理本部 総務グループ 電話 (03) 5433-1123

